

■ こどもの発達支援巡回事業(令和元年度事業報告)

令和元年度経営方針

- (1)川越市内の私立幼稚園及び川越市が未巡回の私立保育所、地域子育て支援センター、認定こども園への巡回支援を実施する。
- (2)川越市障害者福祉課を通して希望のあった、上記施設に複数回、巡回支援する。
- (3)発達巡回支援事業は、発達の「気になる子」がいると申し出のあった保育所等に巡回支援員が訪問し、保育者及び保護者に助言・指導を行い、診療や療育につなげる。
- (4)巡回支援員は診断名や症状名を特定することはできないことをきちん伝える。
- (5)臨床心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士等で必要に応じてチームを組み、支援を行う。

令和元年度取り組み

1 相談者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 巡回施設の選定及び決定</p> <p>① 4月中旬、川越市障害者福祉課より巡回を希望する施設名簿を収集する。</p> <p>② 名簿を基に希望施設と日程調整する。</p> <p>③ チェックシートを記入し、こどもの発達支援巡回事業所へ提出依頼する。</p>	<p>巡回支援件数</p> <p>保育園 110 件</p> <p>幼稚園 71 件</p> <p>認定こども園 19 件</p> <p>子育て支援センター0 件</p> <p>計:186 件</p>
<p>◆ チェックシートを基に個別支援シートを作成</p> <p>担当園、担当児を分担し、巡回支援員が個別支援シートを作成し、巡回支援を実施する。</p>	<p>対象児数(延べ人数)</p> <p>保育園 298 人</p> <p>幼稚園 186 人</p> <p>認定こども園 19 人</p> <p>計:562 人</p>
<p>◆ 巡回訪問を実施し、保育者に対する助言</p> <p>午前中、子どもの様子を見学し、給食後、担任及び園長・主任等とカンファレンスを実施する。</p>	<p>左記の通り、適宜必要なカンファレンスを実施した。</p>
<p>◆ 必要に応じて医療・療育機関を紹介</p> <p>埼玉医大総合医療センター、ハロークリニック、秩父学園、中野クリニック、ともいきチャイルドケアセンター、川越市立教育センター分室(リバーラ)、川越市内特別支援学級授業公開等の関係機関を紹介する。</p>	<p>左記の通り、適宜必要な紹介を行った。</p>

2 地域社会との共生

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 関係機関専門職との連携</p> <p>発達支援マネージャー、子育て支援センター担当者、ひかり児童園の臨床心理士、理学療法士、作業療法士等と連携する。</p>	<p>主に児童発達支援センター、保育コンシェルジュと連携をしながら支援した。</p> <p>また、以下の専門職と同行して巡回した。 保健師 10 名、保育士 17 名(延べ人数)</p>
<p>◆ 支援の重要性に係る問題提起</p> <p>① 子どもへの早期支援を推進する。</p> <p>② 児童虐待等の現状報告と問題提起を行う。</p> <p>③ 愛着障害等について保護者への支援を行う。</p>	<p>① 1、2歳児の相談の増加に対応して助言を行った。</p> <p>② 育児放棄等の虐待が疑われる児童に対して、保育園等とともに検討した。</p> <p>③ 保育園等の依頼により、保護者面談を行い支援した。</p>

3 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 各種研修に参加し、技術習得</p> <p>① 埼玉県主催の研修に参加する。</p> <p>② 埼玉県発達障害福祉協会主催の研修に参加する。</p> <p>③ 公益社団法人発達協会主催の研修に参加する。</p>	<p>「発達障害の基礎理解」、「巡回支援専門員研修会」に参加した。</p>

4 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 効率的な施設管理・経営</p> <p>総合相談として同じ法人が受託する「しんあい相談支援センター」「埼玉県地域生活定着支援センター」等との連携を図る。</p>	<p>総合相談室として、会議等を通して、しんあい相談支援センター、埼玉県地域生活定着支援センターと連携した。</p>

5 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 安全運転、事故防止の徹底 ① 巡回時の交通安全を徹底する。 ② ドライブレコーダーを設置する。	左記のとおり実施。問題になるようなことは起こっていない。
◆ 個人情報の保護 ① USB によるデータの持出を禁止する。 ② 別ファイル、パソコンの施錠管理を徹底する。	左記のとおり実施。問題になるようなことは起こっていない。

6 その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 関係機関との情報交換 地域の福祉施設との情報交換会及び学習会等を通して事業内容や方針についての周知を行う。	個別の保育園等で保育士等に対して学習会を開催した。

■こどもの発達支援巡回事業(令和元年度事業報告資料)

①巡回支援実績(令和2年3月31日現在)

(1) 毎月の巡回支援件数(延べ件数)

(件)

	保育園	幼稚園	認定こども園	子育て支援センター	計
4月	0	0	0	0	0
5月	13	3	1	0	17
6月	10	10	0	0	20
7月	11	10	1	0	22
8月	14	0	1	0	15
9月	4	8	6	0	18
10月	10	7	0	0	17
11月	12	5	2	0	19
12月	12	3	2	0	17
1月	13	2	3	0	18
2月	5	9	3	0	17
3月	6	0	0	0	6
計	110	57	19	0	186
(30年度)	(110)	(71)	(11)	(1)	(191)

(2) 毎月の対象児数(延べ人数)

(人)

	保育園	幼稚園	認定こども園	子育て支援センター	計
4月	0	0	0	0	0
5月	26	9	5	0	40
6月	39	35	0	0	74
7月	39	34	1	0	74
8月	33	0	4	0	37
9月	6	29	22	0	57
10月	33	20	0	0	53
11月	31	19	7	0	57
12月	42	7	9	0	58
1月	32	7	13	0	52
2月	9	26	17	0	52
3月	8	0	0	0	8
計	298	186	78	0	562
(30年度)	(299)	(219)	(50)	(0)	(568)

(3)対象児の年齢(実人数)

(人)

	0～1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
幼稚園	0	1	52	53	23	129
保育園	14	42	58	48	42	204
認定こども園	3	11	22	20	9	65
子育て支援センター	0	0	0	0	0	0
計	17	54	132	121	74	398
(30年度)	(8)	(29)	(47)	(126)	(101)	(311)

②関係機関との連携

(1)専門職との連携(延べ人数)

(人)

保健師	作業療法士	理学療法士	言語聴覚士	保育士	計
10	0	0	0	17	27
18	1	0	0	0	19

③職員研修

研修名	日程	内容
令和元年度 「発達障害の基礎理解」 場所 ウエスタ川越大ホール	8月23日	1「発達障害について医学的見地」 講師 子どもの心のケアハウス 嵐山学園園長 早川 洋 氏 2「診断、療育の現場から早期発見 早期支援について」 講師 光の子療育センター施設長 鈴木 郁子氏
令和元年度 「巡回支援専門員研修会」 場所 国立障害者リハビリテー ションセンター学院	10月2日 ～10月4日	1「発達障害者支援施策を学ぶ。」 2「教育と福祉の連携」 3「実践報告から学ぶ」